



背景

圧倒的な魅力を備えた、東西二極の一局を担う強い大阪都市圏となるため、「広域連携型都市構造」へ転換する。

現状の課題

多様な人や機能が集積する強みが活かし切れていない、また、行政区域により山や川等の魅力的な地域資源が十分に活かし切れていない。

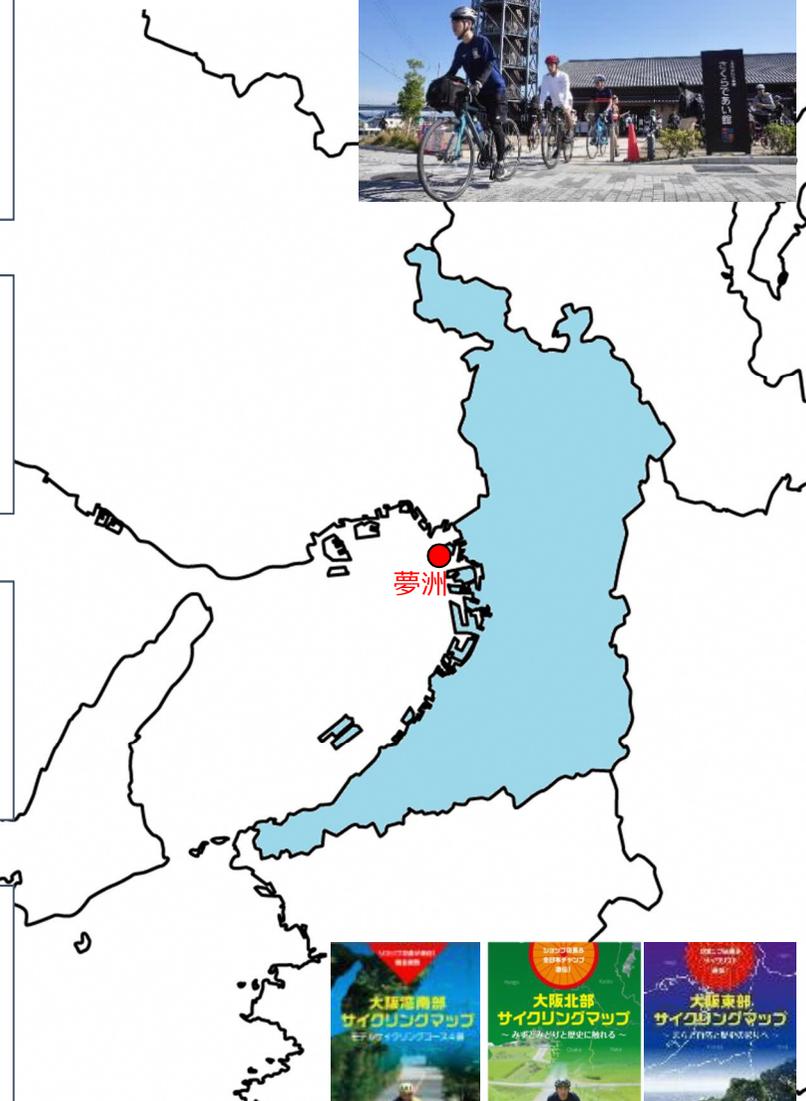
事業の目的

行政間（近隣府県、府内市町村等）や民間企業等との広域連携により、まちのにぎわい・都市魅力を高めるための取組みを推進する。

これまでの取組

2018年度から2020年度まで、関西各地域で取組みが進められている各ルートを連携させ、自転車を活用した広域連携による賑わい創出など地域活性化を図り、まちづくりにつなげる社会実験を実施。

サイクルイベント



大阪広域サイクリングマップ



事業内容

広域での自転車活用の情報発信等を充実させるとともに、自転車を活用したまちづくりの機運を醸成する。

- u サイクルステーションや休憩施設等の情報発信
- u 広域連携会議（府県・市町村・民間団体）
- u サイクルルートの発掘・発信
- u サイクリングマップの作成やアプリ化による利便性の向上
- u サイクルイベントの連携や共催



鉄道と連携したサイクリングイベント



舟運と連携したサイクリングイベント



E-BIKEを活用したサイクリングツアー



得られる成果等

<目標>

- u 2025年大阪・関西万博に向けて、多様な来阪者が自転車で周遊することで、魅力あふれる広域連携のまちづくりを推進する。
- u 万博後は、万博による人の交流やにぎわいの創出の効果を持続させるべく、地域主体、民主導によるまちづくりの推進を目指す。

<企業のメリット>

- u 企業のイメージ・認知度UP
- u SDGsへの取組みなどのPR効果
- u 地域資源を活かした新事業への展開
- u 新たなパートナーシップの構築

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

